

小児医療費助成事業制度改正(案)に関するパブリックコメントの実施結果について

ご意見をお寄せいただきありがとうございました。
お寄せいただきましたご意見に対する市の考え方をとりまとめましたので、ここに公表いたします。

1. 意見募集の期間 令和4年8月5日(金)～9月5日(月)
2. 意見の数 39件
3. 意見提出人数 23人(メール20人、持参3人 / 個人23人)

4. 意見内容の概要

| 区分 | 件数 |
|-----------------------|-----|
| 本改正案に賛成である | 26件 |
| 16歳から18歳の所得制限を撤廃してほしい | 5件 |
| 本改正案に反対である。 | 1件 |
| その他 | 7件 |
| 合計 | 39件 |

5. 市の対応区分

| 記号 | 対応区分 | 件数 |
|----|-----------------------------------|-----|
| ○ | 意見を反映し、素案を修正するもの | 0件 |
| □ | 意見の趣旨や考え方が既に素案に盛り込まれているもの | 26件 |
| ■ | 意見は反映させないが、今後の事業実施時等に参考とするもの | 6件 |
| ▲ | ご意見を反映することが困難なため、素案どおりとしたもの | 4件 |
| ◆ | 今回のパブリックコメント対象外の内容であり、参考意見として扱うもの | 3件 |
| | 合計 | 39件 |

6. 意見の内容と市の対応

| 意見概要 | 整理番号 | 意見内容 | 採否 | 意見数 | 採否の理由 |
|------------------|------|---|----|-----|-----------------------------|
| 本改正案に賛成である。(26件) | 1 | 働き盛りの子育て世代かつ高所得な方々に逗子市を住む場所を選んでいただけのきっかけとなる、ひいては逗子市の税収にも必ず寄与する。税収の収入源となりうる家族層に手厚いサービスを提供することは逗子市の発展にもつながる。 | □ | 5件 | いただいたご意見をもとに、制度改正を進めてまいります。 |
| | 2 | 近隣の市町村を見ても所得制限を設けていない所が多いので、逗子市もその様にして子育てしやすいまちづくりをしてほしい | □ | 4件 | |
| | 3 | 医療や学問は公平に享受されるべきサービスであるべきであり、病気は所得の差を選ばないため、最低限の保障をしていただけるようお願いする。将来を担う子どもたちが健康な生活を送れるために 金銭的なことを考えずに気軽に病院に行ける環境を整えてあげたい。 | □ | 8件 | |
| | 4 | 改正案に賛成である。 | □ | 3件 | |
| | 5 | 20代、30代の働き世代が負担する医療費額が上昇傾向にある中、子どもを産み、育てる全ての世帯に対し所得制限を撤廃することで、完全に公平な行政支援がなされる。15歳までの医療費助成について、所得制限が撤廃されるのは公平で良いと考える。 | □ | 6件 | |

| | | | | | |
|---------------------------|----|--|---|-----|---|
| 16歳から18歳の所得制限を撤廃してほしい(5件) | 6 | 高等学校に在籍する子どもをもつ家庭の所得制限を撤廃してほしい。高等学校や大学等の学費の負担が大変なので、せめて医療費くらい支援してもらいたい。全ての子どもが平等に医療を受けられ、平等に教育を受けられるような逗子市にしてほしい。 | ■ | 1件 | 所得制限のあり方については、今後の検討課題といたします。 |
| | 7 | 年齢拡大18歳まで、また全ての年齢における所得制限撤廃を求めます。親の所得によって、子どもが受けられるべき権利が奪われることは不平等である。 | ■ | 1件 | |
| | 8 | 16～18歳に所得制限を設けるのはなぜか？子どもへの助成は、子ども自身に利益が行き渡るよう平等に考えてほしい。子どものいる家族が逗子に移住・定住してくれるためにも、大井町、松田町のように他の市に先駆けて高卒まで所得制限なしで子育てしやすいまちをアピールしてほしい。 | ■ | 1件 | |
| | 9 | 可能であれば16歳～の所得制限もないのが望ましい | ■ | 1件 | |
| | 10 | 障がい者の子は所得制限を無しにしてほしい。 | ■ | 1件 | |
| 本改正案に反対である。(1件) | 11 | 子育て支援施策としては、困っている世帯への施策の拡充を優先すべき。逗子市は他自治体に比べ、子育て世帯においても高所得者が多くみられる。手厚い対応が行き過ぎることで、他自治体との差が大きくなる。本当に支援が必要なのは所得の低い世帯や住宅ローン等を抱えたひとり親、就業環境と子育てが困難な家庭。財源規模が同じであれば、待機児童問題や就業者に対する子育て支援、困窮者に対する学費支援である。 | ▲ | 1件 | 今後の参考意見とさせていただきます。 |
| その他(7件) | 12 | 医療証のサイズをカードサイズにしてほしい。 | ◆ | 1件 | 今後の参考意見とさせていただきます。 |
| | 13 | 財源が厳しいのであれば所得制限の全撤廃は求めないが、歯科だけは、無料にしてほしい。 | ▲ | 1件 | 特定の診療科のみを助成対象とすることは検討しておりません。 |
| | 14 | 16～18歳の助成対象の所得制限について。「保護者の所得の高い方で審査」ではなく「世帯の合計所得で審査」をして欲しい。現行の審査方法だと、所得が多い世帯が助成対象となり、所得が低い方の世帯が助成対象から外れるという現象が発生している。現行の所得制限も、国の制度である児童手当の審査基準(保護者の所得の高い方で審査)に則しているとのことだが、小児医療助成制度は各地方自治体の制度であるため、逗子市で審査基準を定めて問題ないと思われる。 | ■ | 1件 | 所得制限のあり方については、今後の検討課題といたします。 |
| | 15 | 小児医療だけではなく、児童手当・障害児手当などの、所得制限をぜひともなくしてほしい。 | ◆ | 1件 | 今回のパブリックコメント対象外の内容であり、参考意見とさせていただきます。 |
| | 16 | 自治体の負担だけでなく国が補助していくべきである。 | ◆ | 1件 | 小児医療費にかかる全国一律の助成制度の創設については、国に要望をしているところであり、今後も引き続き要望していきます。 |
| | 17 | 助成額が膨らんで財政が厳しいのであれば、通院一回500円など全世帯統一で行ってほしい。 | ▲ | 2件 | 窓口負担なしでの助成を考えております。一律で医療費を徴収する予定はありません。 |
| 合計 | | | | 39件 | |